

【日々の授業の充実のために ～校内研修の活性化を～】



「教師が変われば、授業が変わる。
授業が変われば、子供が変わる。」
みんなで、目の前の子供たちのために「よい授業のイメージ」を共有化していきましょ！



「互見授業」で、気軽に話し合えて良かった。自分が気づかなかった授業を充実させるポイントを知ることができたな。



「模擬授業」は、子供の立場の先生から様々な意見をもらって、自分が予想しなかった反応にも対応できて余裕を持って授業に取り組めたわ。

1 「互見授業」を通じた研修の充実

【 館岩小で使われている「ちょっとおいでよ授業シート」 】

ちょっとおいでよ授業シート

- 1 実施日 2月5日(水) 2校時目
- 2 学年 1・2年 3・4年 **5年** 6年 5・6年
- 3 教科 国語 **算数** 生活 理科 社会 音楽
図工 体育 道徳 学活

4 授業のねらい

示された情報から、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉え、比較量を正しく求めることができる。

<授業の充実のために>

むずかしい問題にも粘り強く取り組む姿が見られた。

番号	項目	チェック	ページ
1	単元(題材)の構想を明確にもっている。	4 3 2 1	
2	本時のねらいを明確にもっている。	4 3 2 1	①
3	授業の約束事や学習に向かう心構えを指導している。	4 3 2 1	②
4	子どもの「問い」や「思い・願い」を引き出し、学習課題を設定している。	4 3 2 1	③
5	子ども一人一人に追究・解決の計画や見通しをもたせている。	4 3 2 1	④
6	机間指導で子どもを見取り、適切に支援している。	4 ③ 2 1	⑤
7	ペア学習やグループ学習を取り入れる目的を明確にもっている。	4 3 ② 1	⑥
8	本時のねらいに迫るように話し合いをコーディネートしている。	4 3 2 1	⑦
9	本時で学習したことを明確にし、振り返りを工夫している。	4 3 2 1	⑧
10	新たな学びに目を向けさせる終末になっている。	4 3 2 1	⑨
11	授業の流れが分かり、構造的な板書になっている。	4 3 2 1	⑩
12	吟味し精選された発問をしている。	4 3 2 1	⑪⑫
13	ノート指導を継続的に行っている。	4 3 2 1	⑬
		4 3 2 1	

メモ 自分解決→発表し合う ところを参観させて頂きました。
難しい問題 ばかりで、差があり、上位生がもついていると感じました。
下位生は一人で考えるのに限りがあるので、「ヒント4」などで一歩にあつめて「文珠の知恵」方式で考えかかるとよいのでは!? (ごめいさき)

ノートの数字の書き方(?)が、バラバラだったので、統一してもいいかな? と感じました。
位取りを意識しなかったのでは?

昨年度の館岩小学校での取組を紹介いたします。

館岩小学校では、「ちょっとおいでよ授業シート」をもとに、互見授業を実施しました。



【 館岩小での互見授業の様子 】

授業中の子供の姿なども記入していただき、参考になりました。

「導入5分」など短時間に絞って参観していただき、関係する項目をチェックしていただきました。

発表の仕方やノートの書き方など、今後の指導に生かすことができるアドバイスをいただきました。

その他、互見授業を行うために以下のような取組が見られましたので、参考にしてください。

- 職員室のホワイトボードや週案に参観してほしい時間を提示しました。
- 互見授業週間を設定しました。(補欠体制では管理職等の支援を受けて)



2 先生方を子供役にした「模擬授業」

江川小学校で行われた第6学年理科「てこのはたらき」の模擬授業の様子です。

課題追究のグループ活動の場面で、児童役の先生と授業者が、実験について予想される児童のつまずきについて話し合いました。

実際の授業では、模擬授業で出された児童の反応をもとに適切な支援を行うことができました。



【 江川小での模擬授業の様子 】

江川小学校の先生の感想です。

- ・ 教材を出すタイミングや発問の仕方などを具体的に検討することができた。
- ・ 学習する場の広さや実験における注意点などについて教職員間で意見交換ができた。
- ・ 児童の動きや反応を多面的に予想することができた。
- ・ 授業者がイメージしていた授業が可視化され、教職員間で共有できた。



【 実際の授業～重い物を梁に持ち上げるには?～ 】



先生方が子供役となる模擬授業は、感じたことや考えたことを互いに出し合い、対話を通して授業の質を高めることができます。「この発問はこうした方がいいのでは」とか「自分ならこうする」など、授業について語り合うことで授業改善にもつながります。授業の導入や終末の場面だけでの模擬授業も可能で、先生方も主体的に参加できる研修です。

◇ 授業について、和気あいあいと話し合える職員室が基本！

校内研修の方法を紹介しましたが、その土台となるのは、「和気あいあいとした職員室」の雰囲気です。

「風通しのよい職員室」と言いますが、校内研修の場でも、どのような取組が効果的か、ぜひ考え実践してみてください。



「南会津で教師をすれば、どの学校でも通用する授業力が身につく！」

そんな南会津ならではの「同僚性を活かし充実した校内研修」をすすめていきましょう。

『南会津』がつむぐ、
南会津ならではの学校教育！

福島県教育庁南会津教育事務所
学校教育課

TEL 0241 - 62 - 5255

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

